

全自交 東京地連 「2014 学習会」

2014年6月16日(月) 14時より全自交東京地連「2014学習会」が千駄ヶ谷の全自交会館で行われました。全自交東京地連の執行役員や各単組の役員60名が参加して行われました。今、課題は「労働組合の存在意義と役割」で講師には、東京共同法律事務所宮里邦雄弁護士をお迎えしました。



講師 宮里邦雄
弁護士(左)

挨拶する大和田正樹
全自交東京地連委員長(右)



【講義内容】 ※抜粋

●「何故、労働者は団結を必要とするか」

現在、労働組合の組織率は17%しかありません。しかし、タクシー産業の労働組合組織率は40%位になっています。タクシー産業の組織率は全体と比べて何故、高くなっているか。タクシー産業労働者の労働条件が良く無いので、労使対等を実現する為の仕組みとして「団結」(組合組織権)が必要不可欠となっています。

●「労働者保護の為の労働法の仕組み」

雇用、賃金、労働条件に関わる労働者保護の為に労働法規制(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法、男女雇用機会均等法、労働契約法など)があります。団結(労働組合)が無ければ労働法規制がまもられません。

●「労働組合は、労働条件の決定にどの様に関わるか」

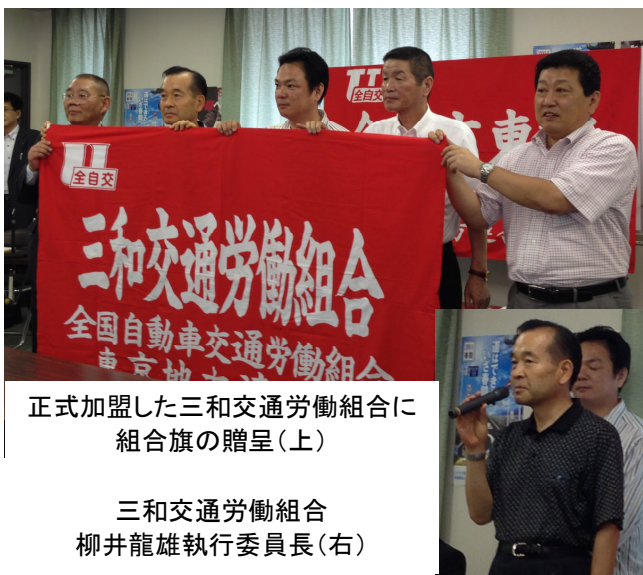
労働条件決定には労働協約優位原則が存在します。各個人が結んだ労働契約より、就業規則より、組合と会社が結んだ労働協約が最優先となります。ここに労働組合の存在意義があります。

【労働契約】→【就業規則】→【労働協約】

全自交 東京地連 第3回中央委員会

2014年7月8日(火) 15時より全自交東京地連 第3回中央委員会は千駄ヶ谷の全自交会館で行われました。今、中央委員会の主は「日本交通グループである『三和交通労働組合』(30名)が全自交東京地連に加盟することによる承認決議」でした。満場一致により、三和交通労働組合は全自交東京地連に正式加盟しました。

『三和交通』が全自交東京地連に正式加盟
全自交東京地連の加盟単組が5単組に！



正式加盟した三和交通労働組合に
組合旗の贈呈(上)

三和交通労働組合
柳井龍雄執行委員長(右)



挨拶する大和田正樹
全自交東京地連委員長

「団結ガンパロー」

日交労赤羽支部との合同宣伝行動 (東京駅) 2014年7月17日(木)AM8:30~

7/17 東京駅で利用者・乗務員へ宣伝行動
『賃金・労働条件の改善と安全・安心・快適な輸送の実現を訴える』

東洋交通労働組合と日交労働組合赤羽支部は、霞ヶ関において毎月のティッシュ配布の宣伝行動を行ってきました。

7月17日には、東京駅で大規模に宣伝行動を行う事を決定し、当日は両組織の18名の役員・組合員が参加して、丸の内と八重洲の利用者・通行人・乗務員へのティッシュの配布と、利用者への誘導・ドアサービスと、乗り場・待機場の清掃を行いました。

両組織は8時半に丸の内内で意思統一を行い、東洋交通労働組合の菊池執行委員長が「昨日の全自交夏期セミナーに参加し、第91回中央委員会において全自交労働連への加盟が正式に承認され、同じ産別組織として行動できます。夏期セミナーで地方の厳しい話を伺い、政治の中心である東京において利用者・通行人と乗務員に賃金・労働条件の改善を訴えて行くことが、東京地連に所属する組織の役割です。ティッシュの内容を読んで、質問にも答えられるように、心を込めて配布を御願います。」と挨拶を行いました。

配布行動に対して、利用者・通行人の方達からも感謝の言葉や、「安全で良いサービスは必要です。アメリカのようなひどい状況に日本のタクシーはしないように頑張ってください。」と激励を頂きました。

8時35分から9時50分まで行動を行い、丸の内2000個、八重洲で1600個のティッシュを配布し、行動を終了しました。

全員(日交労赤羽・東洋交通)で目的を
しっかり確認してから行動して
います。



『タクシープールでの清掃活動』や『ドアサービス』『ラゲッジサービス』を行い、
利用者へタクシーの『良さ』を訴えています。

